

## 石井こうじ議会レポート

令和7年度、当初予算が2月議会で上程されました。一般会計の予算規模は3,885億円で過去最大規模。特別会計・企業会計を合わせると7,301億3,940万円。難波市長による2回目の当初予算編成です。市政変革を加速させるべく予算編成がされております。以下ご報告申し上げます。



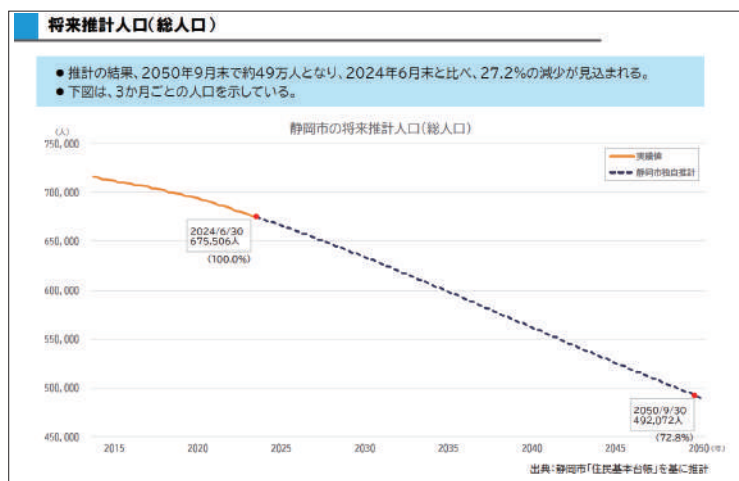
静岡市議会議員 石井孝治

難波市長は目指す社会の姿を「今を生きる人が安心と幸せを実感でき、将来を担う子供や若者が夢を抱き、希望が持てる静岡市の実現」と表現。

予算編成では「人口減少対策の強化」、「社会共有資産の有効活用の推進」、「共創による取組の推進」を重視し、予算の配分をおこなった。

## 1. 人口減少対策の強化

仕事と子育てが両立しやすい環境の整備や、若者が就職を希望する企業の立地、移住希望者に対する住宅や土地の購入・改修の支援など、人口減少対策のための新たな取組を予算に盛り込みました。



## 2. 社会共有資産の有効活用の推進

市の経営資源は、社会全体の力、財産。このため、市有財産だけでなく、民間が持つ財産も“社会共有資産”としてとらえ、これらを有効活用することが重要。

市有財産については、未利用地等の積極的な売却、活用を進めます。このうち、市営住宅の空き室・跡地を移住者や子育て世帯向けに提供するとともに、廃校となった校舎等の民間事業者による利活用を積極的に進めます。

## 3. 共創による取組の推進

社会が大きな変革期にある中、多様かつ複雑な社会課題の解決や新たな価値・魅力を創造するためには、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」がうまくつながるよう、市がそれを下支えし、伴走する「共創」の取組が必要不可欠です。7年度は、スタートアップなどの優れた技術・サービスを活用して地域課題の解決を図る取組を推進するため、出資による支援を拡大します。これまで対象としていた環境分野に加え、海洋分野にも対象を拡げ、社会実装、事業化する企業を下支えします。

## 動物愛護センターのあり方について

2024年11月議会において、動物愛護センターの今後の在り方について下記のように、取り上げました。



2つの建物からなる動物愛護センターは築約46年経過しています。当初は指導管理の目的のため、抑留施設があるなど、現代の愛護や啓発といったあり方からは不釣り合いな施設となっています。また、施設自体も老朽化が進んでいたり、冬場は日のさす時間も短く、職員にとっても、動物にとっても適した環境ではない現状です。

今後、動物愛護精神の向上や啓発に取り組んでいく為にも市民が訪れやすく、また訪れたいと思える施設にしていくべきです。

**Q** 本市の動物愛護センターの今後の在り方と老朽化した施設の対策について、どのように考えているか。

**A** 本施設は動物愛護を効果的に推進していく為の拠点であるとともに、災害時のペット対策の拠点でもある。しかし、現在の施設では動物の保護環境が整っておらず、市民にとっても親しみやすい施設ではない。したがって、今後は応急的な対応ではなく、再整備などの抜本的な対応をしていくため、方針を検討中で、**今年度中に決定する予定。**



## 再整備計画概要（案）がまとまりました！

**課題を解決し、本市の理念実現を目指すため、施設を移転・再整備する**

### これからの動物愛護センターのあり方

#### 理念

人と動物の共生する社会の実現を図り、不適切な動物飼養等によって生じる生活環境への問題を減らす

**「人と動物が穏やかに共生できるまち静岡」**

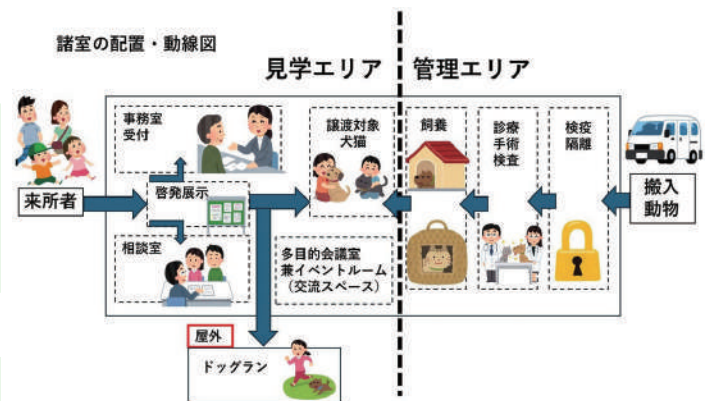
#### 移転計画地

##### ① 剪定地

林業センターの所在地  
(葵区千代 538-11)  
隣接地まで拡張予定  
現敷地面積 2,210 m<sup>2</sup>

##### ② 計画地の選定理由

- ・日照など施設環境の改善
- ・市内各所からのアクセスがよい
- ・関係機関と連携しやすい場所



※災害時には管理エリア、会議室等を利用し被災動物の収容・負傷動物の救護に対応する。

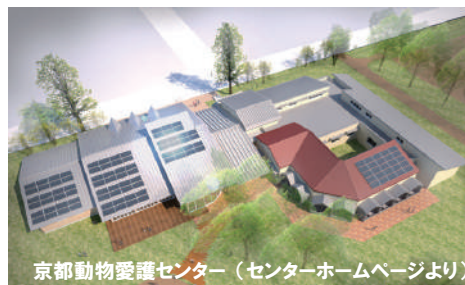
## 京都動物愛護センター視察

京都動物愛護センター（愛称：動物愛ランド京都）を視察してきました。

京都動物愛護センターは平成27年4月に開設。全国初となる府市が共働して運営する動物愛護施設。設置した場所は交通機

関のアクセスに優れた京都駅から15分ほどの都市部にある上鳥羽公園内に開設。施設にはボランティアスタッフとの協働スペースもある管理棟や譲渡室を備えた飼養エリア、ドッグランも備える。また、獣医師会の運営による夜間動物救急センターも併設しており、愛玩動物の拠点となっている。

動物愛護啓発を進める為、幅広い市民との協働による施設運営をめざし、計画的にボランティアスタッフを募集・養成しており、募集の際には30名の枠に対し100名近くの応募がある。更に運営の特徴として犬の収容から譲渡に至るプロセスを外部の専門家の監修のもとに職員と協働で行っている。これにより、犬の問題行動の修正や、性質を踏まえた譲渡先の条件設定、譲渡先のアフターフォローなどが可能になっている。



京都動物愛護センター（センターホームページより）



# JR 静岡駅南口駅前広場再整備計画

静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会で掲げたコンセプト

## 地域にひらかれた“未来につながるまちのロビー”へ

静岡市の新幹線口として、また静岡駅南口エリアの中心地として、交通機能を十分に発揮するとともに、市民や来街者といった多様な人々が安心して利用でき、街の賑わいを感じることもできる“まちのロビー空間”となる様な駅前広場を目指す。

### 将来の姿の5つのポイント

#### ポイント1

広場の面積を現在の約2倍に広げます。  
人と車がゆとりをもって  
広場を利用できるようにします。

#### ポイント2

歩行者のための空間をつくります。  
建物を配置するなどして、居心地が良く、賑わいが  
生まれる場所をつくります。

#### ポイント5

土地の形を整え、広場の隣に、民間  
開発を誘導します。

#### ポイント3

ロータリーを2つに分離し、コンコース前を公共交通(バス・タクシー)  
ロータリー、広場東側を自家用車ロータリーにします。

#### ポイント4

今ある道路を広場に取り込み、広場として利用することで、歩行者が  
周りの街や建物に行きやすくなります。

### ここがポイント

最初にこのことを議会で取り上げたのが9年前の2016年、そこから折りに触れ指摘し続けた結果、昨年からは動き出すことができました。駿河区の顔として整備するため、駿河区ならではのシンボルも配置したい。立像ガンダムの設置やミニ四駆のタクシーを走らせるなど、特色を出していきたいと考えています。

## 大浜公園プール 2025年7月19日 リニューアルオープン!!!

#### ☆流水プール

全長 250m、幅 6mの流水の変化のあるプール。  
中ノ島にはバーゴラやヤシの植栽により、リゾート感のある休憩スペースを提供。



#### 【利用料金】

市内高校生以上	800円	(市外 1,000円)
市内小・中学生	400円	(市外 500円)
3歳以上の幼児	100円	



#### ☆ウォータースライダー

長さ 82mの線形の異なる2つのスライダーを設置。下部空間は芝生の休憩スペース。

#### ☆アトラクションプール

迫力満点のバケツアトラクションをはじめ、すべり台や水車等の様々な水のアイテムを組み込み、五感を刺激する演出を行う。

